

# 小学校 特別活動 の事例

設定した言語活動を通して育てたい力

- 目的を意識しながら思考を整理することができる。
- 互いの意見のよさを生かしたり、折り合いを付けたりした判断ができる。

思考力、判断力の育成

- 学年 第6学年
  - 議題名 「スリッパそろえ大作戦」～全校児童がトイレのスリッパを進んでそろえるような、呼びかけの内容や方法を話し合おう～〈学級活動（1）〉
  - 本時の目標 全校児童がトイレのスリッパを主体的にそろえるようになるために、全校朝会で提案する内容や方法を自ら考え、互いの意見のよさを生かした集団決定を行うことができる。
  - 学習の流れ（全1時間） 学級や学校における生活上の諸問題についての気づきを、事前に児童が議題カードに書いて計画委員会に提出する。
- 【事前の活動】（朝の会・帰りの会、休憩時間等を活用）
- 計画委員会が議題カードを集約して議題を選定する。その後、話し合いの柱を決め、学級会の計画を立てる。
  - 事前に議題と話し合いの柱を学級全員に伝え、自分の考えをもって学級会に参加するよう働きかける。

【計画委員会】学級の代表（4名程度）で構成され、学級会の事前の準備、学級会の司会進行等を行う。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準【観点】（評価方法）
1 議題、目的（提案理由）を確認する。	議題「スリッパそろえ大作戦」～全校児童がトイレのスリッパを進んでそろえるような、呼びかけの内容や方法を話し合おう～	
2 話し合いの柱をもとに話し合う。	【話し合いの柱】 「呼びかける内容・方法について」	
① 意見を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員が自主的に司会進行できるように、教師が作成した「司会シナリオ」を活用させる。</li> <li>・児童の思考が整理されるように、板書を工夫する。</li> <li>・全員の考えが整理できるよう、板書された短冊の下にネームカードを貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの意見のよさを生かしたり、折り合いを付けたりしながら話し合っている。〔集団の一員としての思考・判断・実践〕（ワークシート・行動観察）</li> </ul>
② 意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出された意見をワークシートに整理し、自分の考えをもつ。</li> <li>・集団決定を行う。</li> </ul>	
【折り合いを付けながら集団決定するためのポイント】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その意見が出された理由を踏まえて考えてみよう。</li> <li>○自分の意見も友達の見解も生かすために、共通点を見つけよう。</li> <li>○異なる意見の中間点はどこだろう。</li> <li>○意見と意見を組み合わせると、どうなるだろう。</li> </ul>	
3 話し合いについて振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員会の仕事ぶりや、目的を意識した発言、互いの意見のよさを生かした発言、折り合いが付けられた発言等について肯定的評価を行う。</li> </ul>	

- 【事後の活動】（朝の会・帰りの会、休憩時間等を活用）
- 話し合い終了後、「スリッパそろえ大作戦」の準備を行い、全校朝会で発表する。
  - 発表後、振り返りカードに自己評価・友だちへの評価を書き、自分自身の振り返りや互いの認め合いを行う。

## 指導のポイント

### 思考が整理できるように、板書を工夫する

- 話し合い活動で意見を出し合う場面では、意見の内容が目的（提案理由）から外れたり、実践不可能な意見になったりすることがあります。
- そこで、学習活動2①では、児童が目的を意識して、多様な意見が出し合えるように、**話し合いのポイント**【ア目的（提案理由） イ活動の条件 ウ話し合いの柱】を提示したり、意見を短冊に書いたりして板書を工夫しましょう。

【例】

**ウ「話し合いの柱」**  
教師が児童の意見を短冊に書き出すことで、類似する意見をまとめたり、意見の順序性や順位性を整理したりすることができます。

【方法】  
A 低学年がよく分かるように歌りたいな。  
B クイズがあると楽しんでスリッパをそろえる気持ちになるよ。  
C スリッパの写真を見せると、がらうとする気持ちになるよ。

**話し合いの柱**  
呼びかける内容・方法について

【内容】  
スリッパがそろっていない実について伝えたい。  
スリッパをそろえたいという年生の願いを伝えたい。  
スリッパをそろえるとおとずるいいことを伝えたい。

**イ「活動の条件」**を提示することで、自分の考えを条件に沿って整理することができます。（話し合い活動の際は、常時提示します。）

◆ 提案理由に沿っているか  
◆ 自分たちで活動できるか  
◆ 効果があるか

**ア目的（提案理由）**を提示することで、何のために話し合うのかを児童に意識させることができます。

議題「スリッパをそろえる」  
全校児童がトイレのスリッパを進んでそろえる呼びかけの内容や方法を話し合おう  
目的（提案理由）  
トイレのスリッパをそろえて気持ちよく生活したいから

### 互いの意見をワークシートに整理して考えさせる

- 集団決定の際に、十分な話し合いを行わず、安易に多数決で決定をすることはありませんか。
- 個人思考の際に、互いの意見のよさや相違点を**表に整理できるようなワークシート**を活用することによって、整理した表をもとに自分なりの考えをもって話し合いに参加することができます。

安易な多数決。  
どれか一つを選ばないや。

工夫

互いの意見のよさが生かされ、誰もが納得のできる集団決定ができる。

【例】

学級会ワークシート						
議題	提案理由	呼びかけ方法	提案理由に沿っているか	自分たちで活動できるか	効果があるか	【メモ欄】
全校児童がトイレのスリッパを進んでそろえる	トイレのスリッパをそろえて気持ちよく生活したい					
意見A			○	△	◎	
意見B			△	○	△	
意見C			◎	○	○	いい意見だな
自分の考え	AとCの意見を合わせて・・・					

それぞれの意見のよさが整理されたわ。

### 新学習指導要領では

#### よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を重視

- 今回の改訂で、第1目標に「よりよい生活や人間関係」が新たに加えられました。このことは、「望ましい集団活動」を通してよりよい生活や人間関係を築くことを目指しています。そのために、学級活動（1）では、**集団としての意見をまとめるなどの話し合い活動を充実させること**が求められています。
- 本時の話し合い活動では、①で話し合いのポイントを提示するなどの板書を工夫することで、児童は「**生活をよりよくする**」という目的を意識しながら自分の意見を述べるすることができます。②では、児童に互いの意見を整理させ、自分の考えをもたせませす。その上で、折り合いを付けながら話し合わせることによって、**互いの思いや願いを生かした**集団決定を行うことができます。このような話し合い活動は、よりよい生活や人間関係を築くことにつながります。